

# 大津市(近畿ブロック)

【2期 計画期間 H25年4月～30年3月】

## 【1期計画の概要】

○琵琶湖の自然景観を活かした賑わい施設整備や、大津百町に集積する歴史・文化資産の活用等により、まちの賑わいを創出すべく、1期計画を実施。

## 【中心市街地の変化】

○琵琶湖観光客数は大幅に改善、一定の成果は見られるが、エリア全体への波及効果は十分ではない。

○通行量は下げ止まりを見せるものの、集客を見込んでいた事業の未実施等によりまちの魅力を十分に高めることができず、大きな増加には至らず。

○2期計画では、1期計画を踏襲しつつ、波及効果、まちの魅力や動線の再構築、組織体制の強化等、新たな課題に対応しつつ、活性化を図っていく。

○なお、課題である都市機能の充実、なかでも商業機能の充実を一層図るため、商店街における新規商業店舗数を新たに指標として設定する。

## 【目指す中心市街地像】

**大津百町と琵琶湖を舞台とした暮らしと交流の創造都市**

- ・江戸期：東海道五十三次で最大の人口を誇る宿場町として発展。町数が100カ町を超え、「大津百町(おおつひゃくちょう)」と呼ばれる。
- ・明治期：県庁・裁判所等の行政・司法機能が集積し、交通・運輸・治水等の整備が進む。県の中心都市としての地域を確立。
- ・昭和期：主要道路や鉄道の発展に伴い、京都・大阪圏への通勤者増加。

## ■1期の目標指標

目標	指標	基準値	目標値	最新値
・駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出 ・町家等の活用による複合的都市機能の充実	休日の歩行者・自転車通行量(主要6地点合計)	8,742人(H19)	12,700人(H24)	8,903人(H23)
琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化	琵琶湖観光客入込数	133.8万人(H19)	160万人(H24)	151.1万人(H23)

## ■2期の目標指標

目標	指標	基準値	目標値
・駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出	休日の歩行者・自転車通行量(主要7地点合計)	9,387人(H23)	11,650人(H29)
・町家等の活用による複合的都市機能の充実	商店街における新規商業店舗数	26店舗(H19～23)	46店舗(H25～29)
琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化	琵琶湖観光客入込数	151.1万人(H23)	160万人(H29)

## ■駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出

⇒主要事業:「大津駅西地区第一種市街地再開発事業」、「大津駅前商店街再生整備事業」他

## ■町家等の活用による複合的都市機能の充実

⇒主要事業:「旧東海道まちなみ整備事業」、「大津事件等資料館整備事業」、「町家等活用事業」、他

## ■琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化

⇒主要事業:「湖岸エリア・アートプロジェクト」、「湖岸公園活用ソフト事業」、他

# 大津市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわい創出

- ①大津駅西第一土地区画整理事業
- ②大津駅西地区第一種市街地再開発事業

大津駅周辺で区画整理を行い、公園・街路等の整備を進めるとともに、商業等施設と住宅180戸の複合施設(29階建)を整備する。

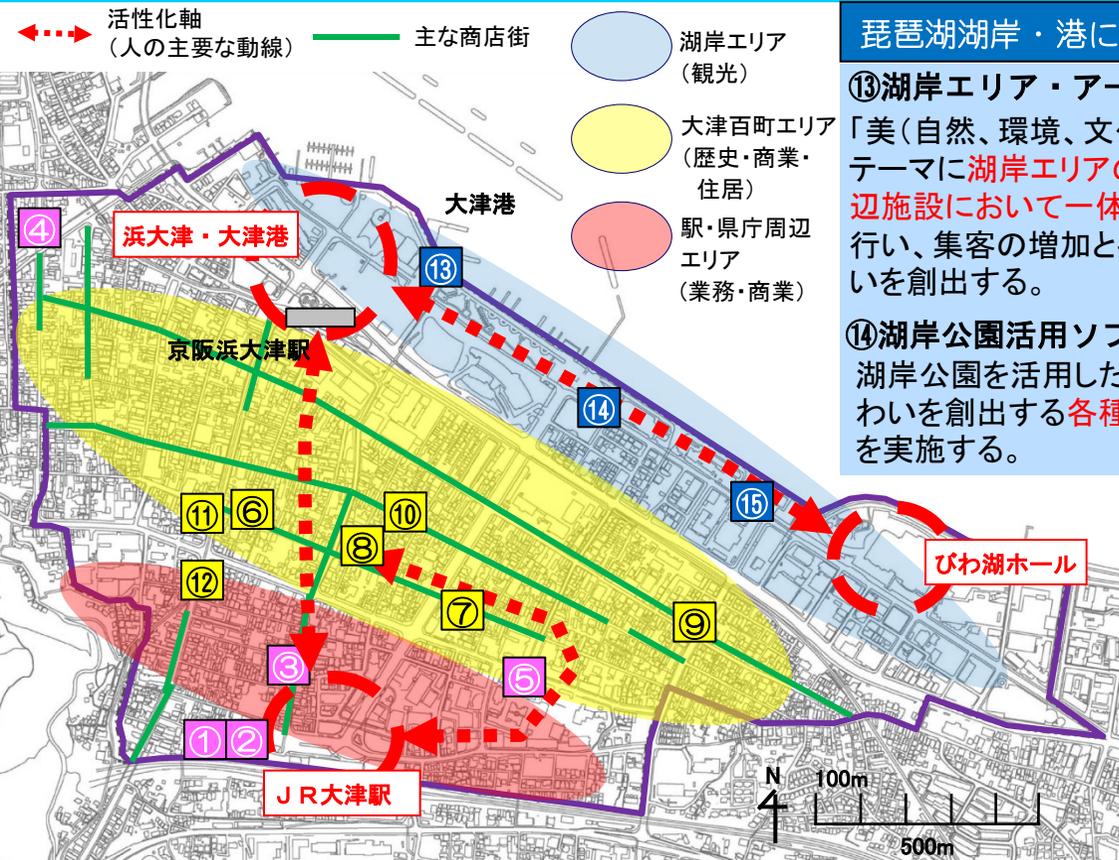


- ③大津駅前商店街再生整備事業
- 大津の玄関口でもある駅前商店街の再生を図るため、アーケード改修等施設整備を実施する。



- ④まちなかがい事業(全目標に関連)
- 旧東海道及び旧北国街道(琵琶湖疏水、大津城址等)を中心に地域資源をガイドツアー形式で案内し、魅力発信と回遊性向上を図る。

- ⑤県庁周辺県有地活用促進事業(旧滋賀会館、旧体育施設等)
- 県有施設の民間活用による情報・文化発信、交流機能を整備する。



## 琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化

- ⑬湖岸エリア・アートプロジェクト (湖岸全体)

「美(自然、環境、文化等)」をテーマに湖岸エリアの公園や周辺施設において一体的な活動を行い、集客の増加と共になぎわいを創出する。



- ⑭湖岸公園活用ソフト事業(同上)

湖岸公園を活用した集客とにぎわいを創出する各種ソフト事業を実施する。



- ⑮既存施設活用事業(全エリア)

商業施設やホテル、市民ホールなど、既存施設間で連携した情報発信及びイベント等を実施することで、集客増加や回遊性向上を図る。

中心市街地区域: 約160ha

## 町家等の活用による複合的都市機能の充実

- ⑥旧東海道まちなみ整備事業
  - ⑦まちなみ整備事業
- 旧東海道における修景舗装や無電柱化による空間整備や、町家等の修景整備に対する補助事業を実施する。



- ⑧大津事件等資料館整備事業
- 大津事件の歴史を伝えるとともにまちの魅力を見える化するため、地域が運営主体を担う資料館を整備する。



- ⑨100円商店街事業等
- 100円商店街イベントを開催し、個店の魅力発信とにぎわいの創出を図る。



- ⑩町家等活用事業(大津百町エリア全体)
- 町家等を改修し、魅力ある最適な店舗設置を進める。

- ⑪札の辻(ふだのつじ)高札場復元事業

- ⑫大津宿本陣活用事業